

令和5(2023)年度 家庭基礎シラバス

科目名	家庭基礎
単位数	2 単位
スクーリング回数	6 時間
レポート提出回数	4 回
履修年次	前期：3 年次 後期：2 年次

1 家庭科の目標

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。

2 家庭基礎の目標

人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活などに関する基礎的・基本的な知識と技術を習得させ家族や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。

- (1)人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2)家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
- (3)様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

3 使用教材

教科書：東京書籍「家庭基礎 自立・共生・創造」
 その他：自作教材・ワークシートなど

5 評価の観点

評価の観点	評価の内容	評価方法
知識・技能	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	授業態度 レポート テスト
思考・判断・表現	生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	授業態度 レポート テスト
主体的に学習に取り組む態度	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。	授業態度 レポート テスト

令和5(2023)年度 生活教養 シラバス

科目名	生活教養
単位数	2 単位
スクーリング回数	4 時間
レポート提出回数	4 回
履修年次	前期：3 年次

1 家庭科の目標

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。

2 生活教養の目標

望ましい生活習慣を身に付けるとともに、主体的に生活を創造する能力などを修得させるとともに、家庭や地域社会の一員としての自覚をもって自分の生き方を考え、生活をよりよくしようとする実践的な態度を育てる。

- ①自己や生活を取り巻く社会的な環境に目を向け、自己の生活課題を解決できる能力を身につける。
- ②マナーについて学習し、望ましい行動ができる。

3 生活教養の概要

生活全般のマナー（日常の立ち居振る舞い・身だしなみ・話し言葉・食文化とマナー等）を総合的に学習することで、相手への気遣い、生活を支える人々と社会のつながり気づき、生涯にわたって自律的に生きる基礎を培う。

4 使用教材

副読本：教育図書「最新版 楽しく学べるマナーの基本」
 その他：自作教材・ワークシート

5 評価の観点

評価の観点	評価の内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な礼儀作法（日常の立ち居振る舞い、身だしなみ、話し言葉、食文化とマナーなど）を習得し、円滑な社会生活を送ることができる知識と技術を身につける ・日本文化を大切にしつつ、国際的な視野も兼ね備えた心豊かな生活を送るために必要な基本的な知識と技術を身につける 	授業態度 レポート テスト
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・社会生活で必要なマナーを正しく身につけ状況に応じて使い分けることができる ・実生活での様々な問題を解決できる考え方ができる ・各自の生活課題を見いだし、解決しようとする態度を身につける。 	授業態度 レポート テスト
主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・礼儀作法や日本文化に興味関心を持ち、それらを意欲的に学ぼうとする姿勢が見られる。 	授業態度 レポート テスト

令和 5(2023) 年度 フードデザイン シラバス

科目名	フードデザイン	スクーリング回数	4時間
単位数	2単位	レポート提出回数	4回
履修	前期：3年		

1 家庭科の目標

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。

2 フードデザインの目標

栄養・食品・献立・調理・テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に寄与する能力と態度を育てる。

3 フードデザインの概要

健康と食生活、フードデザインの構成要素（栄養・食品・料理様式と献立・調理・テーブルコーディネート）、フードデザイン実習・食育と食育推進活動の食生活を総合的に学習し実践的な態度と技術を身につける。

4 到達目標

- ① 食生活の向上、課題発見など自己や食生活を取り巻く社会的な環境に目を向け問題解決できる能力を身につける。
- ① 様式別献立について学習し調理やコーディネートができる。

5 使用教材

教科書：実教出版「フードデザイン 新改訂版」

自作教材・ワークシート

6 評価の観点

評価の観点	評価の内容	評価方法
主体的態度	・日本の食生活の現状と課題を把握し食事作りの喜びや集団での食事の楽しみを実践する姿勢が見られる。	授業態度 出席状況 レポート
思考・判断・表現	・年齢別、性別での食事摂取基準の違いを理解して、家族の食事計画が作成できる。 ・輸入食品によって支えられている食糧事情を理解し、食物を大切に作る心を養う。	レポート
知識・技能	・日本の伝統食についての知識と技術を習得し、後世へ伝承できるようにする。 ・栄養バランスのよい食事計画が作成でき、それらを調理するための知識と技術を養う。	レポート テスト

令和 5 (2023) 年度 子どもの発達と保育 シラバス

科目名	子どもの発達と保育	スクーリング回数	6時間
単位数	2単位	レポート提出回数	4回
履修	後期：3年		

1 家庭科の目標

人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的にとらえ、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会とのかかわりについて理解させるとともに、生活に必要な知識と技術を習得させ、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する能力と実践的な態度を育てる。

2 子どもの発達と保育の目標

乳幼児の発達の特徴、乳幼児の生活と保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの健全な成長を図る能力と態度を育てる。

3 教科書

実教出版「子どもの発達と保育」

4 内容

- (1)子どもの発達の特性
- (2)子どもの発達の過程
- (3)子どもの生活
- (4)子どもの保育
- (5)子どもの福祉

5 評価の観点

評価の観点	評価の内容	評価方法
主体的態度	・子どもの健全な成長に関心を持ち、それらを意欲的に学ぶ姿勢が見られる。	授業態度 出席状況 レポート
思考・判断・表現	・子どもをとりまく問題や子育てに関する課題等を理解し、子どもにとってより良い環境とは何かを考察を深めている。 ・乳幼児期の生活の特徴や事故防止について理解し、乳幼児との適切なかかわりができる。 ・おもちゃや絵本等、乳幼児の発育に応じた遊具が製作できる。	レポート
知識・技能	・乳幼児期が人間の発達の基礎を培う時期であることを理解している。 ・乳幼児期の心身の発達の特徴や、集団保育の特徴を理解している。 ・児童福祉に関する基本的な法律と制度の趣旨を理解している。	レポート テスト

